

## 令和4年度 第1回史跡小牧山整備計画審議会議事録

### 1 会議の名称

令和4年度第1回史跡小牧山整備計画審議会

### 2 開催日時

令和4年5月17日（火） 9時30分～11時00分

### 3 開催場所

小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室

### 4 議題及び報告

#### ○議題

(1) 小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の展示改装について

#### ○報告

(1) 今年度の事業計画について

- ・主郭地区第3工区整備実施設計
- ・主郭地区第1工区整備工事
- ・小牧山城史跡情報館周辺（管理道部分）整備工事
- ・主郭地区第3・4工区発掘調査

(2) 史跡小牧山整備基本計画の改訂について

### 5 公開又は非公開の別

公開

### 6 出席者

〔委員〕 池田委員、川島委員、大堀委員、坪井委員、富嶋委員、倉知委員、  
水野委員、三輪委員、落合委員、三品委員、堀場委員

〔事務局〕 中川教育長、石川教育部長、伊藤教育次長、武市小牧山課長、  
浅野史跡係長、伊藤主事補

〔傍聴者〕 なし

## 7 会議の結果

### 【事務局（武市）】

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第1回史跡小牧山整備計画審議会を開催させていただきます。

皆様におかれましては、本日は、大変お忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。

会を始める前に、ご報告をさせていただきます。

本日は、11人の委員の皆様全員にご出席いただいております。

本審議会は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして会議を公開としております。

本日の審議会の議事は音声録音し、議事録は、発言内容、お名前とともに市ホームページにて公開いたしますので、ご承知おきをお願いいたします。

なお、本日は、今年度から導入しました会議録作成システムを設置させていただいております。机上にございます黒い円盤型のものがマイクとなります。このため、発言される場合につきましては、お一人ずつ、できるだけはっきりとお話いただきますようお願い申し上げます。

次に、会議資料の確認をいたします。

事前にお送りさせていただきました資料は、次第、資料1と2であります。

不足などございましたら、お申し出いただきたいと思います。

また、机上に資料1のページ1とページ6及び資料3を置かせていただいております。差し替えと追加をお願いいたします。

続きまして新委員のご紹介をいたします。

区長会代表の委員が代わりまして、大堀誠三郎様。

### 【大堀委員】

よろしくをお願いいたします。

### 【事務局（武市）】

また、小牧市市役所職員より落合健一委員。

### 【落合委員】

落合と申します。よろしくお願ひします。

【事務局（武市）】

三品克二委員。

【三品委員】

三品でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

堀場武委員。

【堀場委員】

堀場です。よろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

以上の4名の方でございます。

また、今年度異動のありました事務局職員の紹介をさせていただきます。

教育部長の石川徹です。

【事務局（石川）】

石川です。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

次長の伊藤京子です。

【事務局（伊藤）】

伊藤です。よろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

それでは、初めに、教育長の中川よりご挨拶を申し上げます。

【事務局（中川）】

皆様、おはようございます。

本日は、委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、史跡小牧山整備計画

審議会にご出席を賜り、また、平素より本市の小牧山整備事業にご理解とご支援を賜り、本当にありがとうございます。お礼を申し上げたいと思います。

さて、本日の審議会でございますが、議題が1件、報告が2件ございます。

議題につきましては、小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の展示改装についてでございます。

史跡小牧山におきましては、これまでの発掘調査の成果を踏まえて、山のふもとにございます家康が築いた土塁や堀の復元、また、山頂付近では昨年度から信長の築いた石垣の復元・整備を進めているところであります。また、令和5年に、徳川家康をテーマとしたNHK大河ドラマが放映されることが決定しておりまして、今後、より多くの方々が小牧山に訪れていただけるものとする次第です。

こうしたことから、小牧山にある歴史館とれきしるこまきの展示について見直しをし、小牧山を来訪されました方々が小牧山の持つ歴史的な価値や魅力についてより深く知っていただける施設となるよう、展示改装を行ってまいりたいと考えております。

また、報告といたしまして、今年度の事業計画についてと、昨年度ご審議いただきました史跡小牧山整備基本計画の改訂についてを上げさせていただいております。

さらには、会議終了後には、昨年度保存修理工事を行いました小牧市創垂館と、同じく昨年度整備工事を行いました主郭地区第5工区の整備後の状況をご視察いただく予定をしております。

委員の皆様方におかれましては、限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

それでは、この後の審議、何とぞよろしく願いいたします。

#### 【事務局（武市）】

それでは、続きまして、池田会長よりご挨拶を頂戴いたします。

#### 【池田会長】

皆さん、おはようございます。朝早くからどうもありがとうございます。

本日は、議題の1番にちょっと時間をかけたいと思ひまして、ここでの会議は1時間余りで終わりたいと計画しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

**【事務局（武市）】**

ありがとうございました。

それでは、以降の議事進行は池田会長よろしく願いたします。

**1. 議題**

**【池田会長】**

次第の1ですね。議題、小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の展示改装について、まず事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局（浅野）】**

それでは、議題（1）小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の展示改装について説明させていただきます。少し長くなりますので、着座にて失礼いたします。

それでは、資料1をご覧ください。

昨年度作成いたしました「小牧市歴史館等展示改装基本方針」であります。

1枚めくっていただきまして、1ページをご覧ください。

展示改装の基本的方向性につきましては、先ほど教育長の挨拶にもありましたが、令和3年度より行っております小牧山の山頂部での史跡整備工事により、今後多くの方が小牧山にお越しいただき、迫力のある信長が築いた石垣の姿をご覧いただけるようになること、また、令和5年よりNHK大河ドラマ「どうする家康」が放送され、小牧・長久手の戦いで家康が陣をしいた小牧山にも注目が集まり、全国から多くの方が来訪されることが予想されることなどから、小牧山への関心がますます高まるこの機会を生かして積極的にPRし、多くの方に小牧山を訪ねていただく取組の一つとしまして、小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館れきしるこまきのリニューアルを行うものであります。

中段にあります展示整備の方向性につきましては、史跡小牧山でのガイドンス機能を山頂の歴史館と山麓にあります、れきしるこまきの2か所で相互補完し、来場者のニーズに沿った展示内容の整理や、デザインの統一を図ることといたしました。

そしてその下段、展示の基本方針といたしましては、歴史館では「子どもから大人まで理解できる、戦国時代の小牧山城についての展示」とし、信長が築き家康が改修した小牧山城についてわかりやすくする展示、また、眺望を活かした展示とすることを基本方針としております。

一方、れきしるこまきでは、「より詳しい小牧山城の最新情報を周知する展示」とし、小牧山城の発掘調査や整備についての最新情報を、企画展示などにより随時

更新するとともに、小牧・長久手の戦いに関する展示の拡充をすることを基本方針と定めております。

1枚めくっていただきまして、2ページをご覧ください。小牧市歴史館の1階から4階までの大まかな展示のテーマを示しております。

1階は多目的・交流スペースとしまして、近代の小牧山を紹介するコーナーや、休憩スペースを設けます。なお、1階は入場無料で、2階以上を有料展示エリアとする予定であります。

2階につきましては戦国フロアとしまして、信長、秀吉、家康と小牧山との関わりや小牧山城の紹介、小牧・長久手の戦いをわかりやすく解説する展示。例としまして、地形模型にプロジェクションマッピングを投影し、部隊の動きや戦いの流れを紹介する展示づくりの新規製作を上げております。

3階は信長・家康フロアとして、例としてですが、映像ディスプレイにより信長や家康についてのクイズや、関連小説、映画等の紹介を上げております。

4階は眺望を活かした展示としまして、戦国時代と現代の風景比較を、例えばグラフィックの張りつけ、あるいはスマホやタブレット等によるAR技術を導入した解説展示を検討してまいります。

いずれも基本方針を踏まえた展示改修の案でありますので、本審議会でご意見をこの後頂き、展示内容に今後反映していく予定であります。

3ページから5ページにつきましては、歴史館の各階のエリア構成や平面計画、リニューアルイメージを載せております。

最後に、6ページをご覧ください。

小牧市歴史館の展示改装のスケジュールとしましては、令和4年度前半、今現在ですけれども、実施設計を行い、秋以降現地で展示改装をし、令和5年3月末に完了する予定であります。

また、れきしるこまきの展示改装のスケジュールにつきましても、令和4年度中に映像等の作製等を行って、歴史館と同じく令和5年3月末に改装を終え、令和5年度4月より一般供用を開始する予定であります。

説明は以上となります。

#### 【池田会長】

ありがとうございました。事務局からの説明は終わりましたので、それでは皆様方からこの歴史館の展示計画案に関しましてご意見をぜひとも伺いたいと思います。よろしく願いいたします。それでは、水野委員おねがいします。

【水野委員】

歴史館の展示の件ですけれども、従来、歴史館の中に、小牧市内の古墳であるとか、もう1つの史跡である大山廃寺等も展示がなされていたと思うんですが、こちらのコーナーはどんなことに今後なるのか、その辺についてお聞かせ願えればと思います。

【池田会長】

お願いいたします。

【事務局（浅野）】

今、歴史館は、市内の古代から近現代までのいろいろなものを紹介する施設となっております。その中に大山廃寺や古墳のことも紹介しておりますが、今回の改装に当たって、歴史館につきましては戦国時代の小牧山を紹介する展示にするということで、今現在展示してあるものについては、今後、別の施設で、改めて展示することを検討していきたいと思っています。

その場所も含めまして、今後、次年度以降になりますが、新しく民俗資料も含めて展示することを計画しております。

【池田会長】

ありがとうございました。

小牧山の歴史館とれきしるこまきのすみ分けというものは、れきしるこまきができたときにしたんですが、そのときに、上のほうの歴史館は小牧市内全体の歴史を展示する、下のれきしるこまきは小牧山に関する歴史やいろんなことを展示するというふうにすみ分けをしたんです。今回は、歴史館のいわゆる小牧市の歴史というのを省き、戦国時代の小牧山城に関するものに限定して展示して入館者を増やしたいということが目的みたいなので、それで展示改装をするということで。

今ご質問のありました古墳とか大山廃寺とかの市内の歴史に関しては、事務局からお話がありましたように、もう一個何か、期待しておりますが、新しい施設ができるそうなので、そちらへ行って、ほかのところへお引越しということで。この市役所の中、内部かもわかりませんし、どこかに引っ越すということで、とりあえず小牧山にある施設2つは、上の歴史館は戦国時代の小牧山城に関してすごく限定して、下は、例えば発掘とか、もっといろいろなものも含めた小牧山全体に関する展示というふうな、すみ分けはあるんですけれども、展示内容を変えようというふうで。

今回のこの会議では、上の歴史館での小牧山城、信長が造った小牧山城と戦国時代の小牧・長久手の戦いのところと、家康が小牧山に陣をつくったときのいわゆる小牧山城のその二つの時間というか、その間のことについての展示にしたいというのが市のご意向ですけれども、皆様方にそれに関して、こうするともう少し小牧山の歴史館への入場者数も増えるのではないかと、お城に入りたいという人たちの期待が増えるのではないかと、もっと人が入るにはどういうふうな展示があったらいいのかということ、自分が小牧山に行くんだったら、城に入るんだったら、どんなものが見たいのかというご意見をぜひ頂きたいというのが今ここで会議の議題ですが、よろしいでしょうか。

#### 【水野委員】

その方針については異論ないんですが、せっかく小牧にはほかにもそういう歴史的な遺産というのがあるものですから、今、場所を変えてというお話がありましたので、そういうところで知らしめるという手だてを打っていただければという意見です。

#### 【池田会長】

だから、何かしてくださるというお話だったので、水野委員のご意見は、一応向こうで、ほかの場所へという形で、移動という。

最初の歴史館の位置づけを少し変えるという方向性で、そこに変えた分に関しては別のところで何か補完していただけるというご意見だと私は認識しましたけれども。

それでは、戦国時代の小牧山の展示、小牧山城に何かご意見ございましたら、よろしく願いいたします。三輪委員、お願いします。

#### 【三輪委員】

小牧青年会議所の三輪です。

こちらに記載してある、子どもから大人まで理解できるということがすごく大事だと思っていて。特に子どもが楽しく学べる場所の提供が必要かなというのは思っています。

私の体験で、2年前に子どもを連れてヤンマーミュージアムさんを訪れたときに、タブレットを貸し出ししていました。



屋上緑化がありまして、そこに人工の池がありました。それぞれポイントにQRコードがありまして、そのQRコードを読み取ることによって、タブレットに生物であったり植物であったり、その特徴が出るようになって、遊び心があって、楽しく子どもが学べる環境があるなと思っていました。

恐らく3階のフロアにそういうことが盛り込んであるんだらうなというのはあるんですけども、タブレットを通じてクイズ形式であったり歴史であったり、小牧山の生物だったり、生き物でもいいと思いますので、そういう提供があると、子どもも楽しく学べて、集まりやすいのかなというのはあります。

こちらは意見とさせていただきます。

#### 【池田会長】

ありがとうございました。富嶋委員、お願いします。

#### 【富嶋委員】

一色小の富嶋です。お願いします。

れきしるの小牧山城の展示に関して、小牧・長久手の戦いに関する展示の拡充をするというところですけども、小牧・長久手の戦いというと、どうしても長久手の戦いが派手ですのでそちらに走ってしまいます。それはそれでいいんですけども、小牧の戦いとか、小牧山に家康が陣をしいたことでどういう影響があったかという部分、ちょっと詳しくなりますけど、資料は少ないですけども、ぜひ展示開発できればなと思っています。

にらみ合いといいますけれども、ぼーっとしていたわけじゃなくて、小牧は最前線で、小競り合いといいつつ最前線で緊張した戦いが2つあったわけですから、それについてはもっと知りたいなと思いますし、長久手の合戦以降、にらみ合いといっても、とにかく小牧山を抜けなかった、小牧山を落とせなかったことで秀吉は北伊勢のほうに、要するに織田信雄のほうの攻略ということで、あの辺に戦を仕掛けて、結局講和に持っていっていますので、派手なことはなかったけれども、家康がそこを守って動かなかったことで歴史が動くという方向性の展示をしていただけると、小牧の価値が上がり、よろしいかと思いますので、ぜひお願いいたします。

#### 【池田会長】

落合委員お願いします。

**【落合委員】**

確認ですけれども。

2 ページで説明いただいた中で、1 階が無料、2 階以上が有料ということだったんですけれども、現在は1階入口のところで料金徴収等してみえると思うんです。今度は2階に上がるところで料金チェックをされるという計画になるということではなかったですか。

**【池田会長】**

事務局お願いします。

**【事務局（浅野）】**

現在、歴史館は1階の東側、右側が無料休憩スペースになっていまして、誰でも自由に使えるようになっていまして。西側は、1階も有料になっております。

入口を入っていただくと、左手に受付がありましてチケットを買っていただいて、パーティションで多少仕切りがありますので、チケットを買われた方は有料ゾーンに入っていただいて、1階、2階、3階と見ていただくというのが現状であります。

今後は、1階は無料ということでもありますけれども、入ってすぐが階段になっていまして、例えばそこにゲートを設けるとかということが非常に危険ですから、そのチケットのあり方についても、今後併せて検討してまいります。

以上です。

**【池田会長】**

ありがとうございました。

**【落合委員】**

もう1点いいですか。

**【池田会長】**

どうぞ。

**【落合委員】**

1 ページですが、基本的な方向性ということで、2つの施設の現状、課題等が書いてあります。れきしるこまき、オープン当初はそれなりのにぎわいを見せていた

ということだと思えますが、現在は、なかなか期待どおりの入館者もないという現状があるかと思えます。

PR方法ですけれども、現在、ホームページ等で、興味のある方に対しては来ていただけるようなPRはされておると思うんですが、来館者数を増やしたいということであれば、半分強引なような感じで、例えばツアーの一環に組み込むとか、とりあえず旅行社を活用するのが手っ取り早いんじゃないかと思うんですが、そのあたりの取組は現在どうなっているか、確認させてください。

**【池田会長】**

お願いします。

**【事務局（浅野）】**

今、小牧市観光協会あるいはシティプロモーション課でもいろんなPRをしていただいております。例えば、名鉄さんですとかJRさんとかいうところ、ほかの市町村さん含めてですけれども、いろんなツアーを組んでいただいたりとかいろんなプランを組んでいただいて来ていただく取組はしております。

こちらでツアーを組んでというところはなかなかできないところもあるんですけれども、今後もこういったものを情報発信等しながら、また、例えばシティプロモーション課や小牧市観光協会とも情報共有を図りながら、PRを進めていきたいと考えております。

以上です。

**【池田会長】**

ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

**【落合委員】**

ぜひ、歴史的価値が十分あるものだと思っておりますので、上手にPRしながら活用いただければなと思っております。

**【池田会長】**

川島委員、よろしく申し上げます。

## 【川島委員】

今、落合委員から発言がありました。それに類似しますけれどもね。

確かに、今度NHKの大河ドラマで小牧へ観光客が足を延ばしてくるんじゃないかという先取りのようなお考えですけれども、これは間違いなく、日本中、あの大河ドラマに取り上げられたところは本当に観光地に変わっているんですよ。それからいくと、NHKの大河ドラマの力というのはやっぱりすごいなとも思っています。

そういう点でいくと、今のうちに、観光客がおいでになったときにがっかりしないような、やはり歴史の発掘ですよ。本当に掘り下げたものを提供できるような設備にしておく、環境づくりをしておくということは、本当に大事なことだと思います。これはぜひ小牧人としてやっていきたいと思います。

それともう1つ、先ほどの観光という、旅行会社の話が出ましたけれども、今までちょっと残念だったのが、観光客が新幹線を降りて名古屋で観光バスに乗って北を向いて来たときに、直行が、同じお城でも、やはり国宝の犬山城を目がけて。都市高速にしても、国道41号線にしても、通るときに小牧山が嫌でも見えるんです。そうしたら、ガイドさんが案内されるのに、「見えますか。あれが小牧・長久手の合戦の小牧山です」って、バスの中のお客さんが見る間もなくバスは通過していく。どうしてこんな、小牧山を通過だけで、見るか見ないかで行っちゃうんだと言った方が、小牧の市民であるんです。

それからいくと、今度の大河ドラマというのは、市長のお考えの中にも、小牧の観光というのもし入ってありましたけれども、歴史的観光というのでは売り込む一番のチャンスではないかなと思います。

やはりここに足を止めてもらいたいという点でいくと、旅行会社に大いにアプローチをかけるというのは大事かと思っています。

これは提案兼意見ということで、以上です。

## 【池田会長】

ありがとうございます。

大堀委員、どうぞお願いします。

## 【大堀委員】

今の川島委員のお話で、今年、ゴールデンウィークに友達が犬山へ行ったそうです。犬山城行列ができていたそうです。それと、城下町のシャッター街は僕が行っ

ていた頃はシャッター街だったんですけれども、みんな新しい店になったり、行列ができるような店舗がたくさんあったと聞いております。

数年前では考えられなかったようなことが、ここ数年でそれだけの観光地になった。タレントを起用したこともありましようけれども、市長のPR方法が上手だったからだと思います。

小牧もぜひ、犬山市のPR方法に倣って、ここ1年ちょっとの間に積極的にPRしていただいて、全国的なものにしていただきたいという希望です。

**【池田会長】**

ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。  
坪井委員、お願いします。

**【坪井委員】**

石垣を今発掘していますね。それで、お話を伺ったときには、石垣を発掘するんですけれども、保存のためにまた埋め戻すと。先ほど、冒頭に浅野からご説明があった石垣を見ていただくんだと。これはレプリカか何かのようなものを置いて展示するという格好になるんですか。

**【池田会長】**

事務局、お願いします。

**【事務局（浅野）】**

山頂で昨年度整備しましたところ、また、今後やっていくところにつきましては、レプリカではなく、本物を見せるということを考えております。

大分上のほうが、石垣が崩れたりとか持ち出されたりとかいうことで、本来の高さまではないんですけれども、一部本物の石垣を見せながら、また後ほど現地で説明させていただきますが、足りない部分を少し補う形でやりますので、レプリカではなく、本物を見せるということになります。

先ほど言いましたように上まで積むことはできないものですから、実際の大きさだとかいうものにつきましては1段目と2段目になりますが、れきしるこまきに実物大の展示がありますので、そちらをご覧ください、現地では本物を見ていただくということで整備を進めております。

以上です。

【坪井委員】

ありがとうございました。

【池田会長】

堀場委員お願いします

【堀場委員】

私も確認ですけれども。

最後のページ6ページに改装の工程表が出ています。そこを見させていただくと、令和4年の5月から実施設計が4か月、展示の改装が5か月となっています。

実質5月から入っているので、もう既にこれ発注をされているという話でよろしいんですかね。

【池田会長】

事務局、お願いします。

【事務局（浅野）】

もう既に業者も決定しておりまして、5月9日契約ということで今現在動いております。

【堀場委員】

ちなみに、どういうところで。

【事務局（浅野）】

展示を専門としている業者になります。

【堀場委員】

それは内容の実実施設計ですね。

【事務局（浅野）】

はい。今回も皆さんからいろんな、こういった展示にしたらわかりやすいだとか、あるいは映像を使ったらいいんじゃないかとかいった意見を頂きまして、それを集約させていただきまして、どんなものをつくっていくかというところを我々も含め

検討させていただいて、その実施設、実際の大きさですとか、映像をどういうふうにするか、何分にするかということを決めたものの設計を今既に進めております。以上です。

**【堀場委員】**

審議会でも、出来上がったものはこちらでまた見させていただくことなるんですかね。

**【池田会長】**

事務局、お願いします。

**【事務局（浅野）】**

最後にお話ししようと思ったんですが、今回いろんな意見を頂きまして、それを集約させていただき、ある程度こういったものになるという形になりましたら、今のところ、7月上旬ぐらいを予定しておりますが、また皆さんにお示しさせていただきたいと考えております。

以上です。

**【堀場委員】**

もう1点よろしいですか。

**【事務局（浅野）】**

はい。

**【堀場委員】**

来年、大河が「どうする家康」になるんですけれども、NHKと小牧市との調整とか協力とか、そういうつながりか何か、具体的にあるものなんですかね。

**【池田会長】**

事務局お願いします。

**【事務局（浅野）】**

NHKさんとのいろんな連絡、調整につきましては、シティプロモーション課が

行っております。

愛知県も県を挙げて、もちろん家康が岡崎の生まれでございますので、愛知県としても今回のNHKの大河ドラマを大きく取り上げるということで、会議をつくっております。そことNHKさんとやり取りをしておりますので、調整は進めております。

子どもはそれを受けて展示ということですので、直接NHKさんとやり取りはしていないですが、市としては既にそういう動きは進めております。

以上です。

**【池田会長】**

ありがとうございます。

**【堀場委員】**

要は、具体的にそういったNHKの大河とタイアップしたようなこともあり得るということなんですよ。

**【池田会長】**

事務局お願いします。

**【事務局（浅野）】**

いろんな制約がありまして。

今現在、来年大河でやりますよということは一切駄目だとかいうこともありますし、例えば名称につきましても、大河ドラマ何とかの地だとかは駄目だとかいいとか、いろんな制約があります。できればきしるこまき、小牧市歴史館でも何かタイアップしたものがやりたいと思うんですが、そういった中で、シティプロモーション課も通しながら調整していきたいと。今後の課題ということですよ。

**【堀場委員】**

よろしくお願いします。

**【池田会長】**

ありがとうございました。

ほかにご意見ございませんでしょうか。



中の展示に関しまして、何が見たいかという皆さんのご意見が聞きたいんですけども。

信長の小牧山城、家康が陣を張った小牧山で一体どういうものが見たいのか。皆様のご意見を伺うと、多分それを活用して、中の展示にこういう写真とかこういう資料とかというのになっていくと思うんですが、そういうご意見はないでしょうか。私はこれが見たいとか。

川島委員、お願いします。

#### 【川島委員】

小牧山に関しては、本当に発掘ということで。

市民の皆さんも「きのうテレビに小牧山が出ていたね」と。結局、発掘作業に関しては、本当に全国的に、やっぱり信長が最初にお城を造ったのが小牧山であるとかいうのは、私も思いもかけない、全国からと言ったらオーバーですけども、東京の友達が電話してきてくれたり、福岡の友達が電話してきたり、「今見たよ」って言ってくれたんですね。

だから、やっぱりこの発掘。信長がどういう形でこのお城を造ったかというこちらの流れというのはやはり小牧の財産ですから、小中学生にも理解できるような形で、発掘の足跡だけは展示してもらいたいと私は思います。以上です。

#### 【池田会長】

ありがとうございました。ほかにございますか。

今のご意見を受けまして、最新の発掘のいわゆる状況というか成果は、ぜひ小牧山の中で見せてもらいたい。例えば、お城の中に御殿そのものもあつたとか、石垣の形も、ここのお城はこういうふうで、これが一番最新だよということがもっとわかる。つまり、発掘されたものの成果が全部そこにぎゅっと詰まるような状況。

それからもう1つは、信長はお城を造ったということでいろんなお城が出てくるんですけども、家康の陣の形ですよ。いわゆる小牧山での陣形だとかそういったもの。先ほどおっしゃったように長久手に行ってしまうことが多い。長久手は長久手合戦の図だとかいう視覚資料がたくさんあるんですけども、小牧山での陣の視覚資料、ビジュアル資料がないので、つくられてはいかがでしょうか。

違っていたら後から直せばいいので、とりあえず今考えられるのはこの形ですよというビジュアル資料。それがないと、今子どもたち、タブレットに持ってくるにしても、まずビジュアル資料がないと何とも持ってこられない。

それから、子どもさんはタブレットが使えるんですけども、ちょっと年配の方になると、50代60代はほとんど使えるとは思うんですけども、それ以上の方たちがいらっしゃるツアーか何かだと、タブレットじゃなくて、本当にそこで何か見えるような展示の方法を。さっき、プロジェクションマッピングが室内で行われるとあったんですけども、それもですけども、ぜひこういう小牧山城がこんなふうに。家康の小牧山の陣のときにお城がどうなっていたのかというのはわかりません、私たちに。だから、今考えられる資料としては、お城は残っていたのか、お城は燃えてなくなっていたのかとかいうようなこと、かなり専門的なことになってしまいますので、それを少し、多分そういうことも知りたい。

信長から家康への渡り方、どうして家康へ渡っていったんだろうとか、そういう細かいことがここに来れば全てわかるという資料をやはり展示していただきたいなと思っております。

ほかに、皆さんもこれが知りたいというのをぜひここで、今おっしゃっていくと、意見としてさっきの会社のほうへ言っていただけて、もう少し新しいものが出ると思いますので。

川島委員お願いします。

#### 【川島委員】

会長がおっしゃるとおり、目で見て理解する。音で聞いてというより、やっぱり目で見ると、視覚に訴えるというのが一番頭に入ることじゃないかなと思うのが1つ。

先月岡崎へ行きましたら、岡崎城へ行く道すがらのところに「NHK大河ドラマ」、「家康」という布ののぼりがぱっと出ていまして、岡崎城の入場切符を買うところなんかにもいっぱい立っているんですね。向こうはやっぱりメインですから当然かもしれないかもしれませんが、うわっ、やっているという感じでお城に入りました。

そういう点でいくと、小牧も、まだまだ時間はありますけれども、もう時間がないと言えない。ここで観光という、歴史という大きなものに対する観光ですからすごく強みがあると思うんですよね。

外から呼ぼうと思うなら、まずは市民です。市民に市の広報等でどんどんやっていっていいんじゃないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

#### 【池田会長】

ありがとうございます。

水野委員お願いします。

【水野委員】

発掘調査を今までに何回かやっておられると思うんですけども、埋め戻しをするわけですね。そうすると、発掘調査をした時点の写真と現在そこがどうなっているかというのが、対比するものがあると非常にわかりやすいんじゃないかと思うんです。

もう考えておられるかもしれませんが、例えば、今ここはこういう写真だけれども、発掘調査をやったときはこういう形になっていましたよというのがないと非常にわかりやすいと思います。

【池田会長】

ありがとうございました。

発掘調査時の写真ということですね。その場にあるということですね。

【水野委員】

そうですね。

【池田会長】

そこへ行ったときに、ここを掘ったらこういうものが出てきましたよというのがありといいということ。それは、中ではなくて、外の話。

あと5分ぐらいで終わりたいと思います。

展示されるときに、ここに甲冑とか、今写真が入っているんですけども、展示室をなるべく明るくしていただきたい。

お城に入ると暗いようなイメージがあるので、それはやめていただいて、なるべく明るい雰囲気をつくっていただいたほうが。昔のお城は暗かったというのはわかるんですけども、今ここで子どもたちが入って、ちょっと暗いとか嫌だとかいうイメージを持たれると、それは生涯持っていきますので、できましたら明るい展示にしていきたいと思います。

タブレットの貸出しも真剣に検討していただきたい。

私もう1つ、ずーっと言い続けているのは、最後の4階の、外側が見えるんですよ。あそこに実際に、タブレットで写して見られるのもいいですけども、何にもなくても、上から見下ろしていると、ここが昔見えた景色だよみたいなのがわかるような。下でも上でもいいので、何かそんなようなものを屋上のところにずっと張るとか。下げるでもいいですけども。本当は、透明な表示板で下げて今と比較

するとすごくいいんですけれども、例えば、昔はここから庄内川まで見えましたよとか、ずっとここが田んぼでしたよとか。でも、今はこんな都市になっているとか。

例えば家康の陣だったら、ここからはこういうふうに向こうの陣が見えましたよとか、そのようなことが少しわかるような展示を。最上階、せっかく上がっていったので、それが見えると、昔こうだったんだというのがわかるようにしていただけたら。

前から展示のお願いをしているので、ぜひとも何かいい形をつくっていただけるとありがたいと思います。

倉知委員、何かご意見ございませんか。

#### 【倉知委員】

なかなか難しいことで、あれですけれども。

先ほど、掘り起こして石が出てきたということで、埋め戻すときに、4月頃、皆さんに募集をかけて、石に名前を書くとか何かをされたと思うんですけれども、それはどのくらいの好評さというのか、どうだったのかなと思ったんですけれども。

#### 【池田会長】

事務局お願いします。

#### 【事務局（浅野）】

昨年度、整備させていただいた第5工区、歴史館の北側のところで、実際に使わせていただいたんですけれども、大小合わせて200個の石を用意させていただいて、午前中ちょっと過ぎたぐらいでもう全て終わってしまったという状況であります。

また後ほど、現地へ行ったときにご説明させていただきますが、そこに入っています。どうしても表面に見せることができないですから、石垣の裏側になりますので、裏込石に書いていただいたので、そういった表示も現地にしてありますので、自分たちが書いたものがここに使われているんだというところで、また興味、関心を持っていただけるような取組もしております。

以上です。

#### 【池田会長】

ありがとうございました。

ほかにご意見がなかったら、1番の議題はこれでよろしいでしょうか。何かご意見ありましたら、是非これを置いておきたいとか。

では、特にないということで、1番の議題に関しまして、小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の展示改装についての議題はこれで終わらせていただきます。

## 2. 報告

### 【池田会長】

続きまして、2番の報告に入りたいと思います。

報告の1番、今年度の事業計画につきまして、事務局のご説明をお願いします。

### 【事務局（浅野）】

報告（1）今年度の事業計画についてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

資料2をご覧ください。

資料2、（1）今年度の事業計画ということで図がついております。

上の図が歴史館周辺の、昨年度から整備するエリアの図となっております。

下段になりますが、①主郭地区第3工区整備実施設計とあります。これは、歴史館の周辺につきましては全部で5つの工区に分けて順次実施設計、それから整備工事等々を行っております。

今年度実施設計を行うのが歴史館の東側、ちょっと見にくいですが、下の図で赤で囲ってあります、対象面積1,390㎡とあるところの設計を行ってまいります。期間としましては、今年の6月中旬から来年までかけて設計を進めていく予定であります。

裏面をお願いいたします。2番目、主郭地区第1工区整備工事になります。

工区を5つに分けるというお話をしましたが、順番は番号順ではなくて、昨年度やった歴史館の北側が第5工区、今年度整備工事をする歴史館西側が第1工区になります。歴史館の南側が2工区、先ほど申しました歴史館東側が3工区、その下が4工区という順番になります。

今年度につきましては、歴史館西側の第1工区のところ、下の図で緑とかで色が塗ってあるところがありますが、こちらの整備工事を行ってまいります。おおむね8月から翌年までかけて整備を行う予定をしております。

続きまして、下段③小牧山城史跡情報館周辺（管理道部分）整備工事でございます。現在、旧の市役所があった本庁舎跡地の整備が完了しております、れきしる

こまきの周辺についても整備が完了しておりますが、その間の部分、もともと管理道があったところがあるんですけども、こちらの整備工事を併せて行ってまいります。これによりまして、今は管理道で分断されております小牧・長久手の戦いの際に使われた土塁と堀がつながり、より一体的な状況がわかるような整備となる予定であります。こちらにつきましても、おおむね8月から翌年3月までの工期で整備工事を行っていく予定をしております。

最後になりますが、一番最後④、主郭地区の第3・第4工区の発掘調査であります。この下の図の右のほう、歴史館の東側ですが、ちょっとわかりにくいですが、赤で囲って斜線が引いてあるおおむね200㎡が、先ほど申しました工区でいいますと第3工区と第4工区の間になります。この部分につきましてはまだ調査が進んでおりません、接続の状況がよくわかっておりませんので、この部分の調査を行って、今後の設計、整備に反映させる目的で発掘調査を行います。おおむね7月ぐらいから12月ぐらいの間の予定をしております。

(1) の今年度の事業計画につきましては以上となります。

【池田会長】

ありがとうございました。

それでは、今の説明につきまして何か、ご意見とか質問がございましたら、お願いいたします。

【坪井委員】

すみません、ちょっといいですか。

【池田会長】

坪井委員、お願いします。

【坪井委員】

今、発掘調査で管理道路というのがありますよね。本当は山頂までは車は登っていけないけれども、たまたま今はこういう時期ですから登れるんですよ、きっと。

小牧山の観光ということで、若い方ばかりじゃなくて、結構年寄りも来ると。私たちが下から登るのでも、結構汗をかきながら登るんですけども、例えば身障者の方だとか、そういう方々用に特別に車を提供。小さなバスじゃないですけども、

そういうものでできるようなことというのも一回お考えいただけると、優しい小牧山になるんじゃないかなと思うんですけども。

**【池田会長】**

事務局、どうですか。お願いします。

**【事務局（浅野）】**

小牧山は、山全体が史跡、国指定の史跡ということでありまして、今現状は車両乗り入れはしておりません。

ただ、どうしても管理用の車両、樹木の整備とか山頂歴史館へいろんな資材を入れたりということのために通行する園路として上まで行く道はあります。

あと、一昨年ですかね、2年前に、下かられきしるこまきの前を通って山頂まで行く道をきれいに整備がしてあると思うんですが、実はあれは、散策道の整備といえますか、今やっています山頂の整備工事に当たってどうしても大型の重機等が通る。それに当たって、今ある、もともとあった道が傷む。ご存じの方はわかると思うんですが、整備する前というのはがたがたの道で、岩盤が出ていて、水が流れてという状況で、非常に歩きにくかったんですが、あれがより悪化するということがありまして、それを防ぐという目的で、工事用車両が通れるための整備ということでしたのであります。

ただ、今文化庁と話をさせていただいて、本来ですと、整備工事が終われば撤去するというのが原則ですが、それを撤去することによって遺構が傷むということがありますので、今のところは、作業道、令和7年まで整備工事を予定しておりますが、整備後もあの道を使えるということでお話を進めておるところです。

その後、せっかく車でも上がれるようなきれいな道があるということですので、それに当たってまた今後検討していきたいとおっしゃるとおり、高齢の方、足が悪い方が車で上がれないのかということはあると思いますので、また検討させていただきたいと思います。

なので、今ある道については、あくまで整備のための車両が通る道ということで整備がしてあるということでご理解いただければと思います。

よろしくお願いします。

**【坪井委員】**

ありがとうございます。

**【池田会長】**

ほかにご意見等ございませんでしょうか。  
整備をするというのは、埋め戻して元の形のとおりにするということですか。  
お願いします。

**【事務局（浅野）】**

過去発掘調査を進めてまいりまして、掘ったままですと、どうしても雨風によって、遺構、出てきた石垣とかが崩れたりとかいうことがありますので、一旦埋め戻して保護しております。それをいよいよ昨年度から整備工事ということで、また一部掘り返しをして整備をしておる状況ですので、また掘り返すというか、一部掘り返しますけれども、後ほど見ていただきますが、石を積んだりとか植栽をしたりとかという整備工事をするということでございます。

**【池田会長】**

わかりました。  
要するに、そこが崩れてこないようにきちんと整えて、それから見栄えもいいうにするという方向の整備工事ということですね。一旦埋め戻しはしているということですね。  
ありがとうございました。ほかにも、ご意見、ご質問ないでしょうか。  
それでは、この報告事項の（１）は終わりました、（２）の史跡小牧山整備基本計画の改訂について進めていきたいと思っておりますので、事務局から説明をお願いします。

**【事務局（浅野）】**

報告の（２）、史跡小牧山整備基本計画の改訂についてということでご報告させていただきます。  
昨年度ですが、令和３年１０月のこの会議で、史跡小牧山整備基本構想の改訂についてご審議いただきました。  
この構想自体は、もともと平成１１年３月に、小牧山の今後の整備あるいは活用の基本的な方針として史跡小牧山整備計画基本構想というものを策定いたしました。ただ、先ほどから申し上げておりますように、小牧山での発掘が進んでいろんな状況が明らかになったこと、あるいは小牧山の東にありました中学校が移転したり、南側にありました市役所が移転して整備をしたということで、平成１１年当時



からは状況が大分変わっておるということで、実は、平成31年4月の文化財保護法の改正を受けまして、令和2年3月に史跡小牧山保存活用計画というのを策定いたしました。この保存活用計画というのが、今現状小牧山でいろんなことを行う最上位計画となっております。

私どもとしましては、先ほど申しましたように、基本構想が平成11年3月の策定時点から大分変わっておるということで、一部リニューアルしていこうと考えていたんですけども、やっぱり保存活用計画とかぶさる部分が多々あるということがありまして、この保存活用計画に既にある小牧山の概要とかいったものにつきましては今回の構想の中では入れず、それ以外のところで新しく変わった部分とかいうところをつくっていきました。

その中で、文化庁とも協議をした中ですが、基本構想の改訂ということで昨年度は進めさせていただきました。これは構想でなく、保存活用計画に基づく、その下の段階の基本計画ということで進めてくださいと文化庁からの指導がございましたので、名称を「史跡小牧山整備基本構想」から「史跡小牧山整備基本計画」と変えまして、保存活用計画の下につながる新たな計画ということで策定させていただきました。今後は、この整備基本計画に基づきましていろんな実施計画とかいうことを進めていくと考えております。

報告は以上となります。

#### 【池田会長】

ありがとうございました。

何かご質問ございますでしょうか、

昨年審議した内容からの基本的な大きな変更は、史跡小牧山整備基本構想だったのが、構想をやめて計画に変えて、内部は変わらないということですよ。いわゆる一番表の見出しが変わっちゃったということではないでしょうか。

ご意見ございますでしょうか。では、これはそういう言葉を変更したということだけでご理解いただけるとありがたいと思います。

### 3. その他

#### 【池田会長】

それでは、2番の報告は終わりました、3番、その他に移りますが、事務局とか皆様方から何か。

富嶋委員お願いします。

**【富嶋委員】**

一色小学校の富嶋です。

今日の基本計画の19ページの方針のところで、「学校教育や生涯学習において、小牧山が地域の歴史と文化を学ぶ場とする」ということが出されております。

このガイドにはありませんが、先年度見たものについては、その方法として、史跡小牧山の価値や魅力を学ぶ学校教育教材、学校計画の作成、学校教育として検討を行うという内容がありました。

これは追々ということではありましたが、せっかくということで、とりあえず信長と秀吉と家康は6年生の学習として学びます。その中で、6年生ですが、信長の内容に小牧山をちょっと入れてカリキュラムを組む。信長、秀吉をやった後、家康と幕府という感じで単元が進んでいくんですけども、その前の段階の信長、家康のまとめのところで小牧・長久手の戦いを取り上げて授業を組み立てて、ついでに、一色ですから岩崎山砦があるので、時間をつくって登って、それこそ岩崎山の頂上から小牧山を臨んでみたいな感じの授業を組み立ててみて、実施は9月、10月になりますので、本校の教員、クラスを使ってやらせていきたいと思っております。うまくいったら、またご報告しますので、そのときはまた稟議ください。

よろしく申し上げます。

**【池田会長】**

ありがとうございました。

他にありますか。

事務局お願いします

**【事務局（武市）】**

それでは、事務局より1点ご報告させていただきたいと思っております。

先ほど、議題の中でもお話しさせていただきましたが、今日皆様からご意見を頂きましたれきしるこまき、歴史館の展示改装につきまして、実施の内容を固めましたら、皆様にもう一度確認させていただきたいと思っておりますので、次回は7月の下旬頃この会議を予定させていただきたいと思っております。また改めて日程調整はさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**【池田会長】**

わかりました。

ほかにございませんか。

それでは、事務局へお返ししたいと思います。

**【事務局（武市）】**

池田会長、委員の皆様、どうもありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたしました。慎重なご審議をいただきまして、どうもありがとうございました。

これをもちまして、令和4年度第1回史跡小牧山整備計画審議会を閉会させていただきます。